



# 学校だより



明けましておめでとうございます。  
 今年1年が、皆様にとって幸多い年になりますようお祈り申し上げます。本年もよろしくお願いたします。  
 冬休みを各家庭で過ごしていた子どもたちが、元気いっぱい学校に戻ってきました。新しい年を迎えて、始業式には「今年ががんばろう！」という引き締



まった表情で臨むことができました。

いよいよ最後の学期を迎えました。子どもたちにとって学年の総まとめの時期です。始業式で、小学生にはちょっと難しいのですが『画竜点睛』という言葉についての話をしました。竜の絵を描いて、最後に瞳を入れたら竜が空に上って行ったという故事から「物事を完成させるための大切な最後の仕上げ」という意味なのだそうです。

竜の瞳になる物は一人一人違います。がんばってきたことをさらに伸ばそうと思う人もいるし、苦手なところをなくそうと思う人もいます。今の学年で身につけておくべきことをしっかりと身につけて、進級、進学という次のステップに進めるようにしたいものです。そのために、一步一步着実に取り組ませたいと思います。

始業式で、新年に当たってのめあてや抱負を一人一人発表してもらいました。紙面の都合で一部だけですが、一人一人のめあてを紹介します。1日1日を大切に、学習や生活にがんばってほしいと思います。

子どもたちがしっかりと今の学年の課程を修められるように、職員一同力を合わせてがんばります。ご家庭でもお力添えをお願いします。

## 新しい年を迎えて

- 人ととんとんふれあっていきたいし、学校の友達とも仲よくやるきいっぱい  
元気いっぱいいたいです。……………○○○○
- かぜをひかないように健康に気をつけたいです。……………○○○○
- 算数がむずかしくなるのががんばりたいです。……………○○○○
- 苦手な国語の漢字をがんばります。……………○○○○
- 体力テストでAバッジを取って、勉強は成績をもっとよくしたいです。○○○○
- 社会が苦手なので、家で予習してきます。……………○○○○
- いろいろな行事に向けて、立派にできるようにがんばりたいです。……………○○○○
- 調子にのらず、物事を積極的にやりとげます。……………○○○○
- 調子をくずさず、健康に気をつけます。……………○○○○
- 毎日笑顔で過ごし、残りの小学校生活を大切にしたいです。……………○○○○

# 教育アンケート

## 保護者 高かったのは

12月に児童・保護者の皆様にご協力いただいたアンケートの結果をお知らせします。全員の評価が「よくあてはまる」ならば100点となるように換算して点数表示しています。

児童・保護者ともに、全項目の平均が約90点と、非常に高い評価をいただいています。



- 1位 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。……………100点
- 2位 学校(先生)は、子どもの努力の様子や学力を適切にとらえている。……………95.8点
- 2位 学校は子どもの健康や安全な暮らしについて配慮している。……………95.8点
- 2位 学校は環境整備に努め、子どもの事故防止や安全に配慮している。……………95.8点

## 低かったのは

- ・子どもは家族、近所の人、友達、先生によくあいさつをしている。……………75.0点
- ・公民館や地域の行事に、積極的に参加している。……………75.0点
- ・親の思いや考えを学校(先生)に伝えている。……………79.2点

# 児童 高かったのは

- 1位 学校へ行くのが楽しい。……………100点
- 1位 友達と仲よくしたり、助け合ったりしている。……………100点
- 3位 先生は、悪いことははっきりとしかってくれる。……………96.7点
- 3位 委員会・クラブ・集会等での活動が楽しい。……………96.7点
- 3位 休み時間は、運動や外での遊びをよくしている。……………96.7点

## 低かったのは

- ・自分の考えを進んで発表している……………70.0点
- ・先生は自分のことをよく分かってくれる。……………80.0点
- ・学校であったことなど、家の人とよく話をしている。……………80.0点

昨年度課題としていた「あいさつ」については、児童は昨年度よりも高くなっていますが、保護者の方からの評価は低くなっています。学校では毎朝元気なあいさつができるようになっていますが、家庭や地域でも同じように元気なあいさつができるようにしていきたいと思えます。「学校であったことを話す」については、保護者の方からの評価は昨年度よりかなり高くなりましたが、まだ十分ではないようです。「自分の考えを進んで発表する」こととあわせて、よりよい人間関係を広げていくために、コミュニケーションの基本として、これらの習慣をしっかりと身につけさせたいと思えます。

昨年度同様『楽しい学校 勉強がわかる学校』を高く評価いただいていると思えます。  
 『楽しい学校』については、どちらも満点の評価です。人数が減り、毎日の朝の会や学芸会の劇など、全校での取り組みが増えたことで、さらに全員のまとまりが強くなり、お互いを尊重する意識も育ってきていると感じています。  
 『勉強がわかる学校』については、一人一人の学習状況を的確にとらえて個別指導を充実することが大切です。少人数の利点をしっかりと生かし、さらに一人一人を大切に指導を心がけたいと思えます。基礎・基本の定着に加えて、自分の考えや意見を自信を持って伝えられるように、経験を重ねる場を設定していこうと思えます。

家庭や地域との連携は、様々な行事を通して協力をいただいたり、ゲストティーチャーとして多くの学習活動の支援をいただいたりすることで子どもたちの学習や生活に大きな効果を得ることができています。  
 中学校との連携は、去年からの小中合同駅伝に加えて、今年から運動会での表現運動や開龍寺の秋の大祭への参加もありました。  
 学びがしっかりとつながれるように、更に連携を深めていきたいと思えます。